

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	コロナの蔓延により、ボランティアや地域との交流が長い期間できていない。そのため外部との繋がりが疎遠となり小規模の人間関係のみの生活となり認知症の進行を誘発している。	感染症にならないようにしながら安全にできるだけ多くの人と関わり、いろいろな経験をする中で楽しかったり、嬉しかったりといった感情を誘発し、情緒の安定や生活の質の向上につなげる。	感染症に対する研修を密に行い実施することで感染予防を図りながら、小規模なボランティア等を依頼していく。	12ヶ月
2		コロナの蔓延により、長い期間玄関先での面会が続いている。コロナ等感染症にかかるリスクがあるため、玄関先での面会が長い期間続いている。ご家族より家族の生活の場が見せてもらえないのは不安との意見がある。	玄関先での面会から居室での面会に切り替え、生活の場をご家族に見ていただくことで、あかりでの生活を感じていただき安心していただく。	感染症の予防の実施のために、ご家族にもお願いしながら、スタッフの感染症の予防研修等を通してスタッフの感染予防に対する意識を向上させ、安全に居室での面会を続ける。	3ヶ月
3		コロナが蔓延する前には、外出レク等を行っていたが、コロナへの感染を懸念し施設のみの生活が続いているため、認知症の進行や筋力の低下につながっている。	できる限り多くの体験をして、生活の質の向上や筋力の維持に努める。経験した体験は忘れてしまってもその時のプラスの感情を引き出し情緒の安定を図る。	感染対策を行いながら、密接な状況を避けた外出レクを検討する。例:花見 ピクニック等	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。